

都市との交流「おもてなしの心」で工夫と知恵を

町長…観光物産協会設立に向け働きかけていきます。



青木 久子 議員



全町へ望まれる放課後子ども教室（遊心館）

再質問 協働を制度化してNPOの育成を指導すべきではないか。町長 制度については勉強させていただき、観光と地場産業をつなげた観光物産協会を立ち上げてほしいとの働きか

情報発信は行政と住民との協働で取り組み、帰郷の折にはおもてなしの心を示すべきではないか。町長 町民とともにホームページでのイベントや事業の情報発信、ご来町や参画要請などを積極的に行い、これを契機に、継続して当町にご支援、ご協力をいただくために努力していきます。

応援寄附条例の制定に向け全町挙げて取り組むべきと思う。魅力あるふるさとづくりの施策を問う

国でも子育て支援には本腰で考えている。やれないのはなぜか。どうすれば全町の児童が放課後に友達との遊び場を確保できると考えるか。教育委員長 帰宅してからの留守家庭は10人に1人です。全小学校開設には、環境条件が整わず現段階では、極めて困難です。

全小学校で「放課後子ども教室」をやれないのはなぜか。「放課後子どもプラン運営委員会」でのグランドデザインへの提示はその後どうなったか。

先駆者でもある紀文さんの「元祖花笠踊り」の宣伝をして文化の伝承を強めよ。町長 元祖花笠踊りは大石田町が発祥の地ということ町ホームページに明示していきたい。認定指導員を積極的に派遣し、伝承に努めたい。

現況の地域子ども教室を充実していきます。再質問 現実に少子化で家に帰っても友達と遊べない。見守り隊の方からも集団下校を進めるべきと指摘があった。有効な学校利用を推進すべきであると思うが。教育委員長 家庭側からすれば、願いますが、学校側は文部省からの厳しい安全管理から考えて困難であるとの判断です。



地域医療の中心的な役目を果たしている北村山公立病院



関 幸悦 議員

公立病院改革ガイドラインが総務省から示されているが、計画は。町長 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行を受けて昨年12月に総務省から公表されました。先進地病院研修として、指定管理者制度の導入や電子カルテ等について研修を深めてくる計画になっています。

安心・信頼の医療確保をどうする

消防広域化推進計画はどうか。町長 平成20年度に対象市町村による広域消防運営計画の策定、24年度までに広域化の実現という指針が示されました。圏域を村山・最上・置賜・庄内南部・庄内北部の5ブロックとしています。救急搬送先病院・基幹病院・通勤通学等の日常生活圏をあげています。組織ができたところであり内容の検討についてはこれからです。

を密にやっていくたいと思います。

再質問 大石田分署は広域化のなかで存続が危ぶまれるのではないか。町長 救急・消防業務については尾花沢市に委託し、大石田分署を設置していますが、町民の皆様消防団の協力を得ながら生命・身体・財産を守る



町民の生命と財産を守るために

大石田分署は老朽化していますが、存続を最低条件とし、救急車の配備等も含めながら開催される分科会・検討会にのぞむよう指示しています。

どうする地域医療と消防業務
町長…3市と情報を共有しながら万全を期していきます。